

第 4 1 回 ゆうちょアイデア貯金箱コンクールについて

1 目的

貯金箱の作製を通じて、次代を担う子どもたちの造形的な創造力を伸ばすとともに、貯蓄に対する関心を高めることを目的として開催しており、1975 年の第 1 回開催以来、今回で 41 回目を迎える長い歴史を持っています。

2 応募期間

2016 年 9 月 1 日(木)から同年 9 月 30 日(金)まで

3 応募学校総数および応募作品総数

○応募学校総数：11,227 校

○参加作品総数：796,917 点 ⇒ 応募作品総数(学校代表)：50,224 点

子どもたちの創作意欲と先生方、保護者の皆さまをはじめとする多くの方々に支えられ、本コンクールは、80 万人に迫る子どもたちにご参加いただきました。

(参考：応募状況の推移)

	2012 年	2013 年	2014 年	2015 年	2016 年
参加児童数	811,386	812,726	823,919	832,530	796,917
応募小学校数	11,520	11,527	11,392	11,365	11,227
(参考) 全国小学校数	21,721	21,460	21,131	20,601	19,943
応募小学校数割合 (応募小学校数/全国小学校数)	53.7%	54.5%	54.6%	55.2%	56.3%

※全国小学校数は、文部科学省「学校基本調査」から引用

4 審査

(1) 一次審査(2016 年 10 月)

各学年ごとに応募作品の審査を行い、240 点を選定。

(2) 最終審査(2016 年 11 月 27 日(日))

一次審査で選定した 240 点の各賞を決定。

なお、審査は、後援団体関係者、協力団体関係者、教育関係者、美術専門家および主催者等によって厳正に実施いたしました。

【最終審査員】(敬称略)

おかだ きょうこ
岡田 京子 (文部科学省 初等中等教育局 教科調査官)

みの ゆたか
菱 豊 (兵庫県立美術館 館長)

ながはま まさひこ
長濱 雅彦 (東京藝術大学 美術学部 教授)

おうみ あやの
近江 綾乃 (京都造形芸術大学 芸術学部 こども芸術学科 学科長)

ふちえ あつし
淵江 淳 (日本郵便株式会社 執行役員)

まつしま しげき
松島 茂樹 (株式会社ゆうちょ銀行 専務執行役)

5 入賞者数

	小学校 1年生の部	小学校 2年生の部	小学校 3年生の部	小学校 4年生の部	小学校 5年生の部	小学校 6年生の部	計
文部科学大臣賞	1点	1点	1点	1点	1点	1点	6点
ゆうちょ銀行賞	1点	1点	1点	1点	1点	1点	6点
ゆうびんきょく賞	1点	1点	1点	1点	1点	1点	6点
審査員特別賞	3点						3点
すてきなデザイン・アイデア賞	219点						219点
計							240点

6 寄附の実施

○寄附金総額：7,969,170円

ご参加いただいた作品1点につき10円を、ゆうちょ銀行から公益財団法人日本ユニセフ協会および独立行政法人国際協力機構に寄附いたします。寄附金は開発途上国で貧困や病気に苦しむ子どもたちのための支援活動などに役立てられます。

7 入賞作品展示会の開催

入賞作品240点については、全国7カ所で開催する展示会で展示します。
詳細は、別紙3をご覧ください。

以上